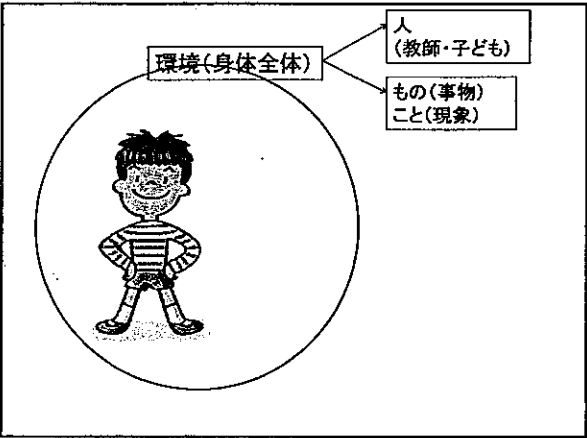


講演会 資料 14:35～ (多目的室)

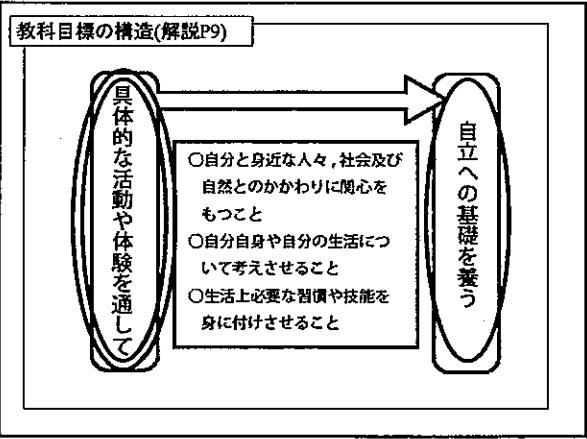
体験を言葉にして、
気付きの質を高める生活科の学習

2014/11/19
文部科学省
田村 学

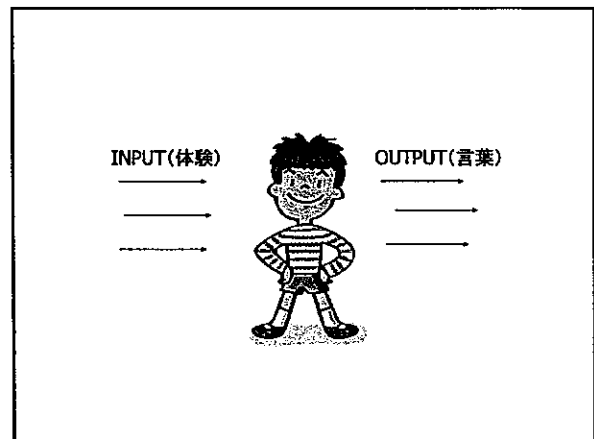
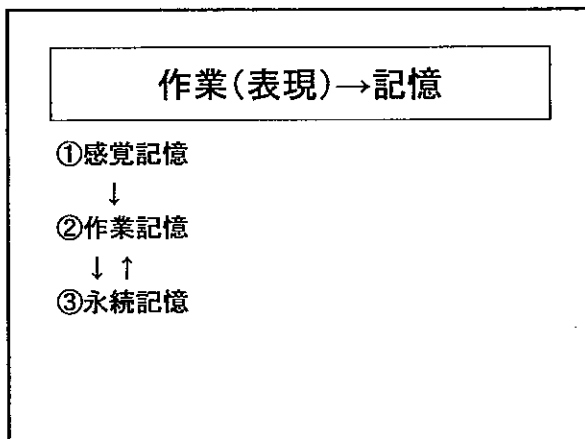
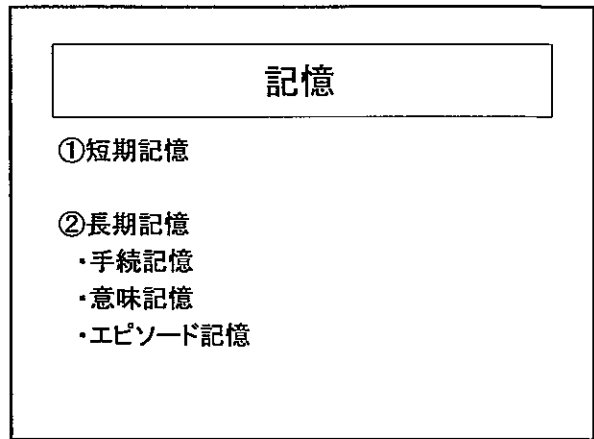
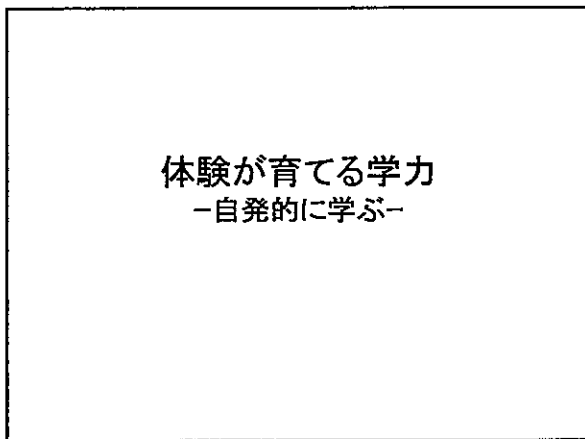
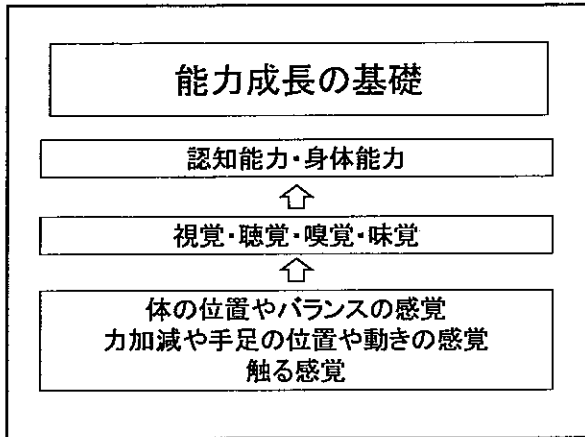
幼児期の教育

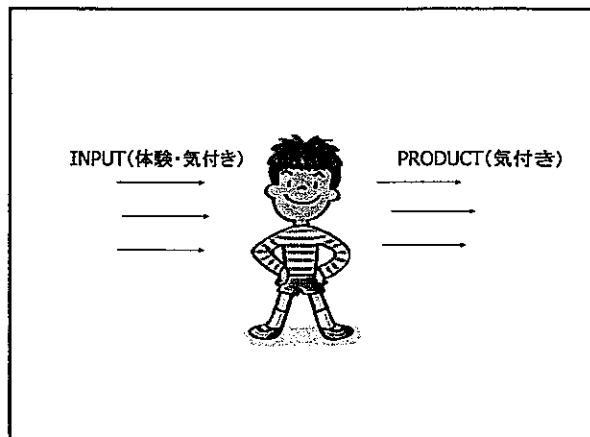
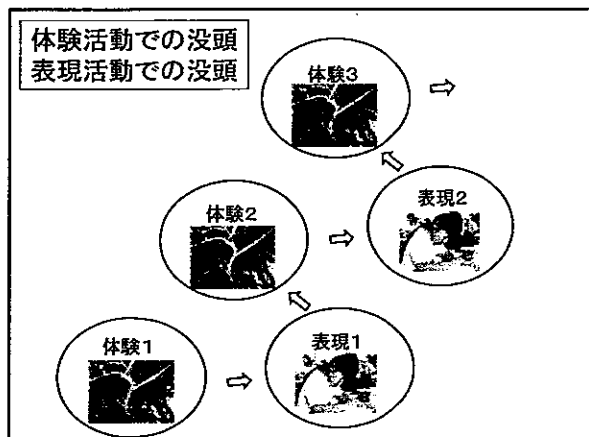


低学年教育(生活科)



体験の価値





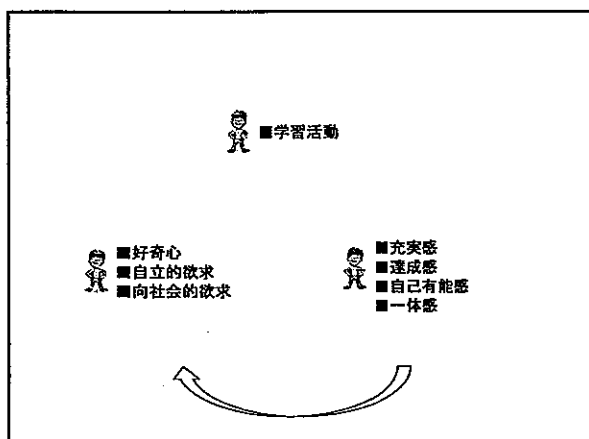
気付く・感覚→意欲

- ①充実感 「すがすがしい」「気持ちいい」などの言葉にならない満たされた感覚、②～④を支える。
- ②達成感 「なるほど」「わかった」「できた」「できそうだ」などを支える感覚
- ③自己有能感 「少しは成長したかな」「前よりうまくいったぞ」などと自己の成長を実感する感覚
- ④一体感 「一緒によかった」「みんながいたから」「みんなでやると楽しい」などの協同的に学ぶ価値を実感する感覚

気付き

気付き(解説P4)

対象に対する一人一人の認識であり、児童の主体的な活動によって生まれるもの。知的な側面と情意的な側面があり、次の活動を誘発するもの。

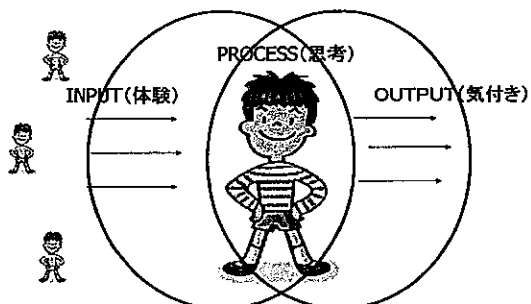
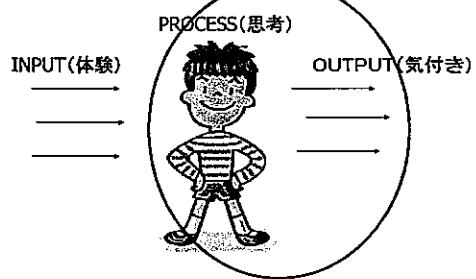
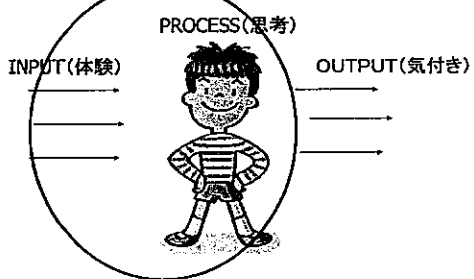
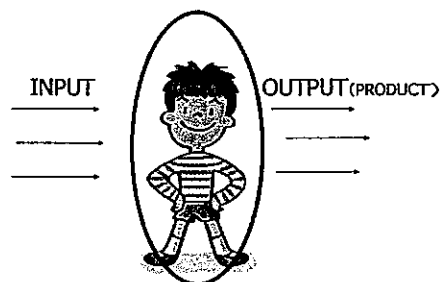


記憶と能動性

- ①短期記憶
- ②長期記憶
 - ・手続記憶
 - ・意味記憶
 - ・エピソード記憶

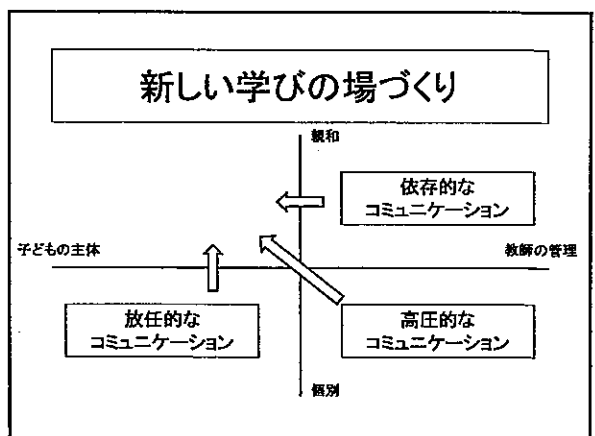
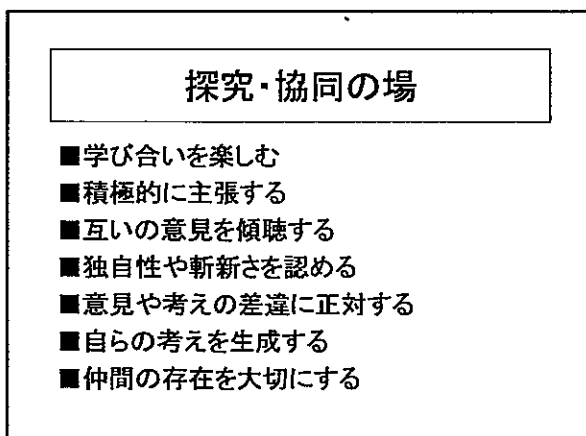
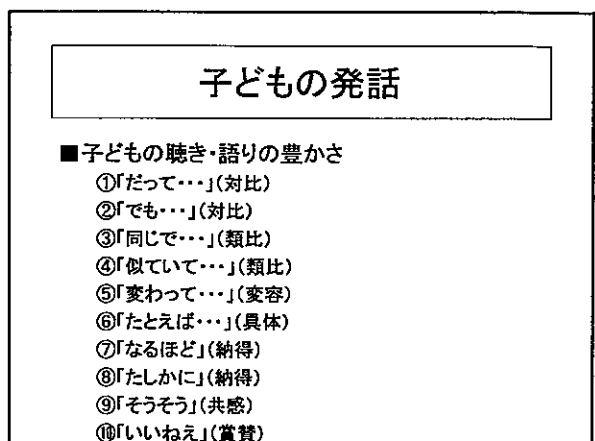
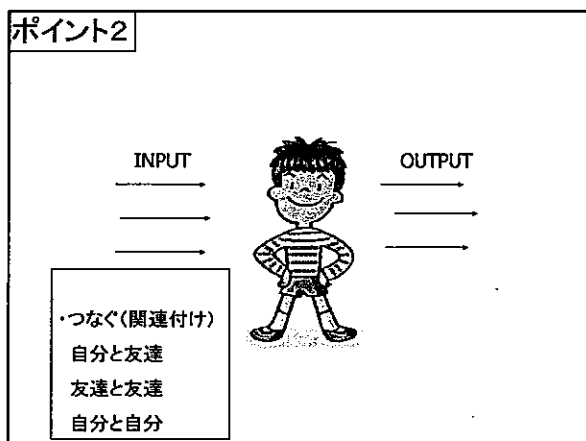
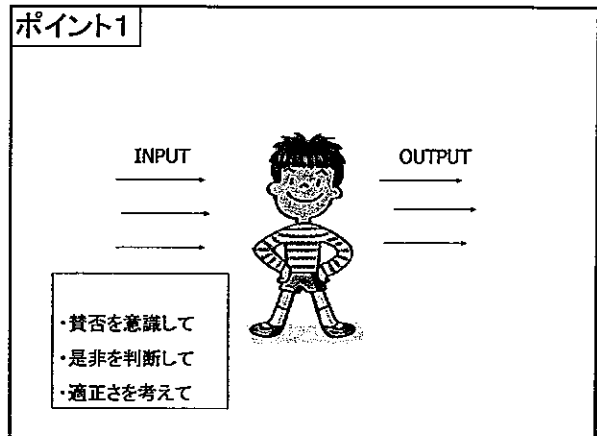
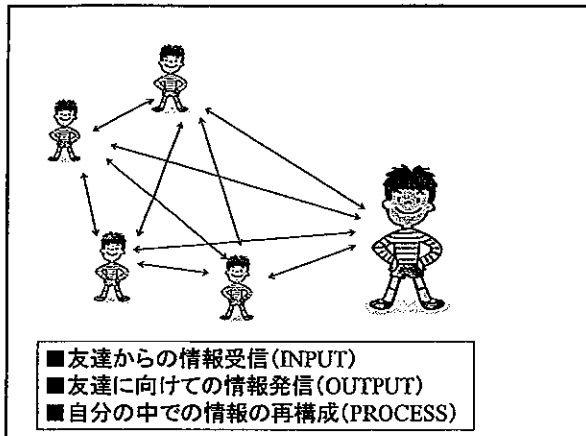
(探索場面→)

体験と表現が育てる学力
-没頭し考える-



思考

- 思考
収集した情報を再構成し、
関係や傾向を見いだす。



さいごに

幼児期の教育 (お茶の水女子大学内田名譽教授)

■ 幼児の「遊びと学び」プロジェクト 20歳代の社会人の子供をもつ保護者1040人を調査

■ 難関突破者(難関大学合格、難関資格取得、スポーツ・芸術等での活躍など)の保護者の幼児期の子育ての特徴を探る

幼児期の教育 (お茶の水女子大学内田名譽教授)

難関突破者の幼児期の教育の特徴

- 思い切り遊ぶ
- 子供の思いや意欲を大切に遊ぶ
- 子供の趣味や好きなことに集中して取り組む

例: 本の読み聞かせ

強制型(せかす・突き放す・けなす)ではなく
共感型(待つ・受け入れる・認める)の接し方

発想の転換

- 教師が身に付けさせる
教師が学ばせる(未熟な学習者)
- ↓
- 子供は自ら身に付ける
子供が自ら学ぶ(有能な学習者)

体験を言葉にして、
気付きの質を高める生活科の学習

2014/11/19
文部科学省
田村 学